



平成30年10月18日

保護者様

京都市立下京雅小学校  
校長 牧野 雅彦

## 子どもたちの放課後の過ごし方について

錦秋の候、保護者の皆さまにおかれましてはご健勝にお過ごしのことと存じます。日ごろは、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、放課後、地域の中で過ごす子どもたちの遊びや行動が多様化し、みんなで楽しく遊ぶ中で、多くの危険に直面したり地域の皆様にご迷惑をかけたりする行為が見られるようになり、地域の方からのお声もいただいております。学校では、「家や学校、社会のルールを守る」指導を重ねているところですが、まだまだ定着するには及んでいません。

公園が少なく、遊び場所が限定されている中で、子どもたちも工夫して遊んでいることと思いますが、ボールを建物や車にあててしまったり、車やバイク等がきいていてもかまわずに道路で遊んでいたりと、他人の住宅地内に自転車を駐輪している様子等もあるようです。

子どもたちは、これまでの遊び方について「自分たちは楽しくてやっていたけど、周りの人には迷惑をかけていたんじゃないかな」「遊んではいけない場所で遊んでいたな」と振り返ることができました。自転車も「友だちの家の前に停められなかったら隣の知らない人の家の前に停めていた」という話も出てきました。これからの遊び方についても「良いか悪いかを考えて判断する」というような考えをもっています。

保護者の皆様にも、このような状況をご理解いただき、子どもたちが放課後に、「どこで」「どのような」遊び方をしているのか、自転車を停める場所や遊び方に問題はないか等、ルールやマナーが守れているかをご確認ください。どうぞ、遊んでいる姿で、子どもたちの正しい言動や行動に対してだけでなく、間違った言動や行動に対しても、声をかけていただければと思います。学校と家庭、また地域の皆様にもご協力いただき、子どもたちを育んでいきたいと思っています。